

4 その他

4-1 学位取得者

称 号	取得大学	論 文 題 目	職 氏 名	取得年月日
農学博士	東京大学	木材の熱による非定常状態での粘弾性に関する研究	所 長 有馬孝禮	昭和 48 年 10 月 1 日
農学博士	京都大学	Production of dimensionary stable particleboard using maleic acid-glycerol mixture	部 長 藤本英人	平成 3 年 3 月 23 日
農学博士	東京大学	スギ 構造材の材質推定と長期耐力評価に関する研究	副部長 荒武志朗	平成 9 年 3 月 3 日
農学博士	九州大学	木ねじ、ボルト及び釘による木質部材接合の剛性に関する研究	部 長 藤元嘉安	平成 10 年 12 月 28 日
農学博士	東京大学	集成材構造の技術的展開に関する研究	部 長 飯村 豊	平成 14 年 10 月 7 日

4-2 客員研究員

氏名	所属・役職	専攻分野	研究実施内容
藤本 登留	九州大学大学院農学研究 院・助教授	木材乾燥	・スギ心持ち構造材の高温低湿乾燥法
土居 修一	秋田県立大学木材高度 加工研究所・教授	木材防腐・防 虫	・木材防腐試験
鈴木 滋彦	静岡大学 農学部 森林資源科学科・助教授	木質材料	・地域における残・廃材等を活用した 木質材料の開発
小松 幸平	京都大学木質科学研究 所・教授	木質構造	・スギ集成材のせん断試験法の開発 ・スギ面格子耐力壁の性能評価
信田 聡	東京大学大学院 農学生命科学研究科・助 教授	木材物理学・ 木材住科学	・スギ厚板パネルの断熱性能について
神谷 文夫	独立行政法人 森林総 合研究所 構造利用研究領域長	木質構造・ 利用学	・県南スギの強度等級を活かした商品 開発について ・耳川流域スギ材の材料特性を活か した商品開発について
安村 基	静岡大学 農学部 森林資源科学科・助教授	木材物理学	・実大木質構造物の仮動的試験
大橋 好光	大橋 I H 研究所	木質構造学	・伝統工法壁体の性能 ・丸太組構造体の耐震性能 ・木造中層ラーメン構造
大熊 幹章	東京大学 名誉教授	木質材料	・スギ合わせ材を用いた軸組構造体の 開発
中島 史郎	独立行政法人 建築研 究所 材料開発グループ 上 席研究員	木質構造・ 木質材料	・建築の環境負荷ライフサイクルの分 析手法の開発
李 銓濟	ソウル大学校農業生命 科学大学 林産工学科学科長	木質構造	・世界的視点からの木造技術

4-3 見学者

4-3-1 センター見学者

平成15年度中に延べ130件の見学があった。
月別の見学者数とその総数は以下のとおりである。

(1) 月別見学者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	9	7	11	10	8	8	28	13	6	4	16	10	130件
人数	137	113	286	99	130	125	426	281	84	31	186	137	2,035人

(2) 見学者内訳

見学者日	見学者・団体名（25人以上）	見学者数
4 / 23	松下孝建設	46名
6 / 10	都城商工会議所女性会	135名
6 / 27	林木育種推進九州地区会議	36名
8 / 22	都城市小中学校事務担当者会議	50名
9 / 24	日南農林高校	40名
9 / 25	大隅農林林務課	25名
10 / 4	上長飯小学校（木工教室）	50名
10 / 10	ロータリークラブ（都城地区3）	45名
10 / 17	ロータリークラブ（国際ロータリー第2730地区）	32名
10 / 25	建築士会宮崎大会	109名
11 / 5	緑の雇用者	50名
11 / 12	日本林経協青年部研究会	30名
11 / 14	平成15年度九州木青連第5回理事会	30名
11 / 16	みやざきの家づくり見学会（宮崎県木材協同組合連合会）	40名
11 / 25	三股町教育障害学習課	40名
12 / 5	西都産業技術専門校	25名
2 / 13	スギシンポジウム	42名
3 / 12	大隅森林管理署	50名
3 / 17	県森連、中国企業の経営者	25名
	25人以上計	900名
	25人未満計	1,135名
	合計	2,035名

平成 15 年度

宮崎県木材利用技術センター業務報告書

〒885-0037 宮崎県都城市花繰町 21 号 2 番

TEL 0986-46-6041

FAX 0986-46-6047

E-mail : wurc@pref.miyazaki.jp URL : <http://www.btvn.ne.jp/~miya-wurc/>